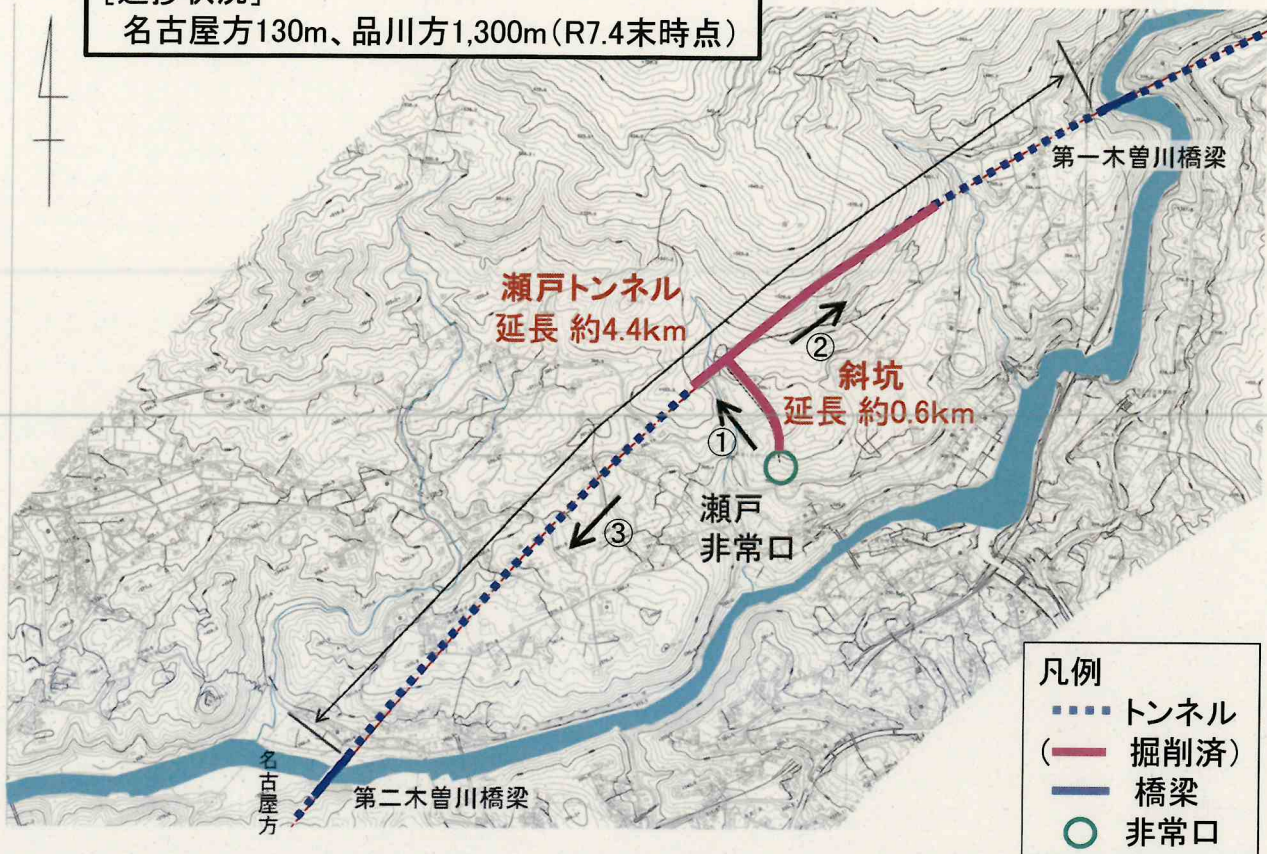


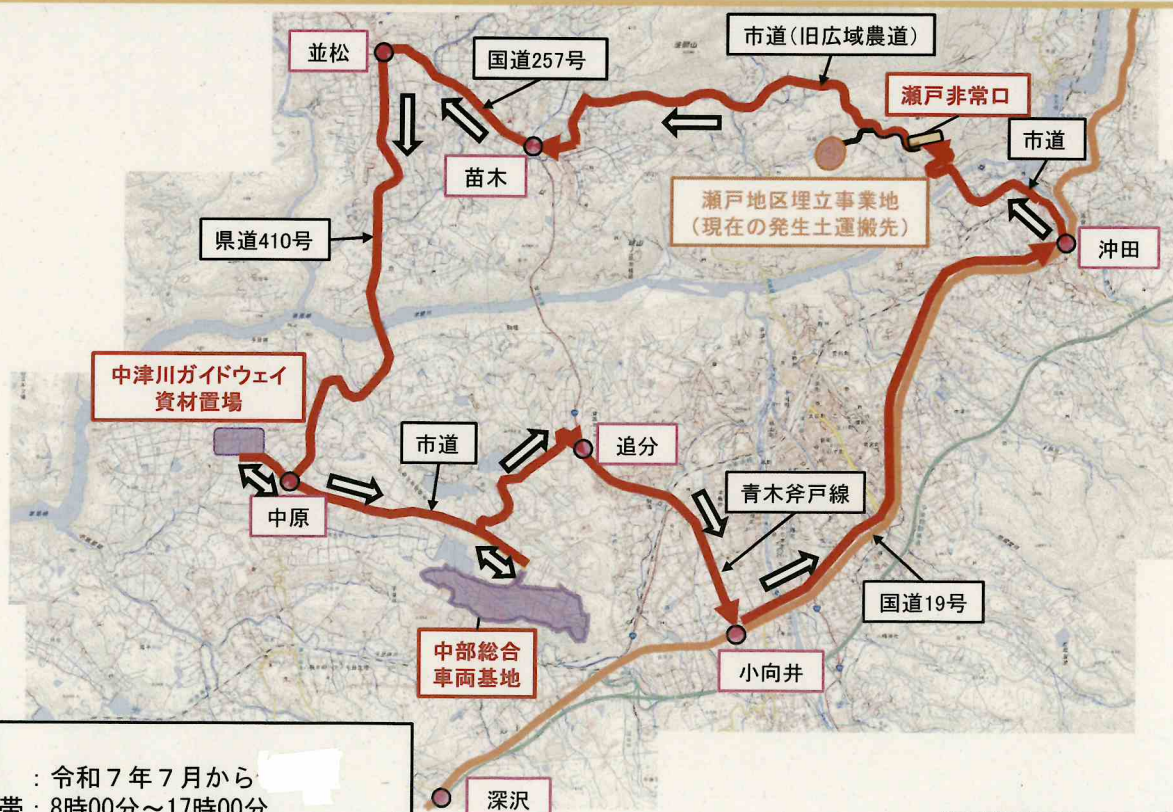
瀬戸トンネル工事進捗状況

[進捗状況]

名古屋方130m、品川方1,300m(R7.4末時点)



今後の発生土運搬ルート(瀬戸非常口～中部総合車両基地等)



○運行計画

運行開始 : 令和7年7月から

運行時間帯 : 8時00分～17時00分

運行台数 : 最大270台/日(片道)

休工日 : 日曜日、ゴールデンウィーク、お盆(8月中旬)、年末年始

【凡例】

— 運行経路

工事用車両の運行に関する安全対策

1) 安全運転教育

- ・ 運転手に対して安全運転教育を実施します。
- ・ 教育には、運行ルート、法定速度、注意箇所(合流部、見通しの悪い箇所)を明示した注意箇所マップを用います。
- ・ この教育は入場当初、定期的(1回/6ヶ月)及び必要に応じ臨時に実施します。

2) 工事用車両の明示を行い当工事ダンプを識別

3) 運行管理システムを発生土運搬ダンプに搭載

4) 定期的に交通状況・路面異常の有無を点検

5) 交通誘導員の配置

- ・ 工事施工ヤード出入口等に交通誘導員を配置します。

6) 一般車両・歩行者優先

- ・ 運転手に対し一般車優先を教育し、待避できる箇所では後続車に道を譲ります。
- ・ 横断歩道に歩行者がいる場合は、一旦停止して歩行者の横断を優先します。

7) 現地における発生土運搬ダンプ運転手への注意喚起(音声アナウンス)

- ・ 注意箇所マップにおける要注意箇所において、音声アナウンスを利用した注意喚起を行います。要注意箇所手前に車両がさしかかると、搭載した端末から注意喚起アナウンスが流れます。

8) 工事施工ヤードから間隔をあけて出発することで通行車両台数を分散します。

明示イメージ



標識による工事用車両明示状況イメージ

発生土運搬の全ダンプカーに搭載する運行管理システム

- ・ 発生土運搬ダンプカーにGPS付車載端末を設置し、全車両の運行状況を監視するとともに、運行計画に反映します。
- ・ 事前に調査した注意箇所マップ情報を車載端末へ登録し、走行注意箇所への接近を運転手に警告するとともに、速度監視、先行車両への接近も警告します。
- ・ 運行履歴に基づき、運転手への教育を行います。

